

【資料編】

「津山市子ども読書活動推進計画」とその結果

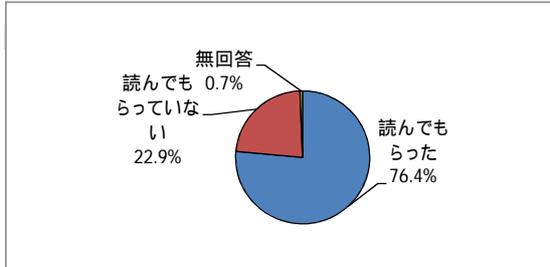
このアンケートは、第3次子ども読書活動推進計画策定にあたり、平成25年6月に、子どもたちの読書に関する生活環境や実態を把握するため実施しました。

対象：小学校5年生 回答912人/1050人 回収率：86.9%
 幼稚園・保育園年長児保護者 回答549人/853人 回収率：64.4% (幼稚園14園、保育園28園、小学校28校)

小学校5年生

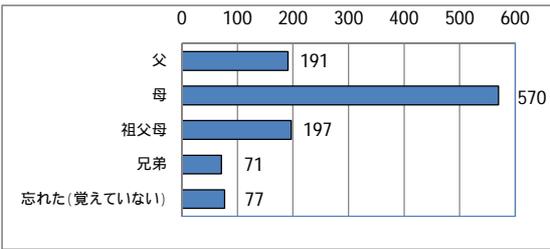
性別	人数	割合
男	463	50.8%
女	449	49.2%
総計	912	

問2 家では、読み聞かせをしてもらっていましたか？



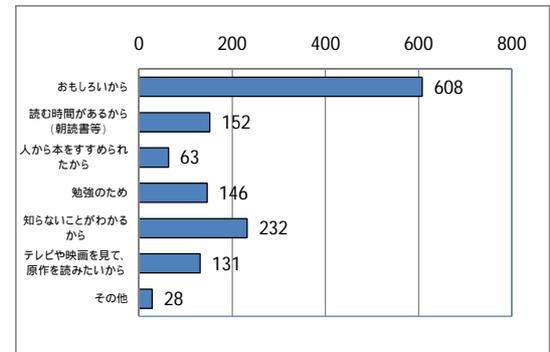
・読み聞かせの有無について、「読んでもらっていた」との回答が76.4%で大多数を占めているが、20%以上の児童が読み聞かせをしてもらっていない現状がある。

問4 問2で「読んでもらった」と答えた方に質問します。その時、だれに読んでもらいましたか。(複数回答)



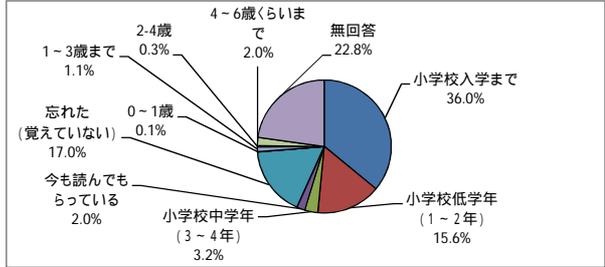
・80%以上の児童が母親に読み聞かせをしてもらっている。
 ・父親または祖父母に読み聞かせをもらっている児童は、約27%ずつである。
 ・約10%の児童が、兄弟から読み聞かせをもらっている。

問6 問5で「好き」「まあまあ好き」と答えた方に質問します。その理由は何ですか。(複数回答)



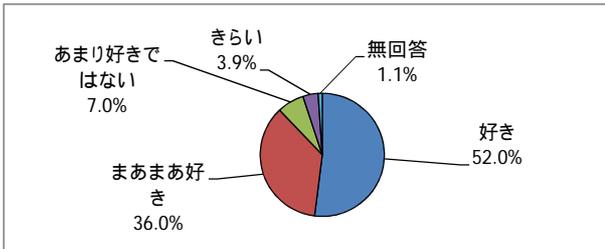
・「おもしろいから」と回答した児童は、約76%であり、他の理由と比べ群を抜いているほか、「知らないことがわかるから」「勉強のため」が約47%であり、読書を通じて、知的好奇心を満たしている児童が多い。

問3 問2で「読んでもらった」と答えた方に質問します。家では、何歳まで本を読んでもらっていましたか？



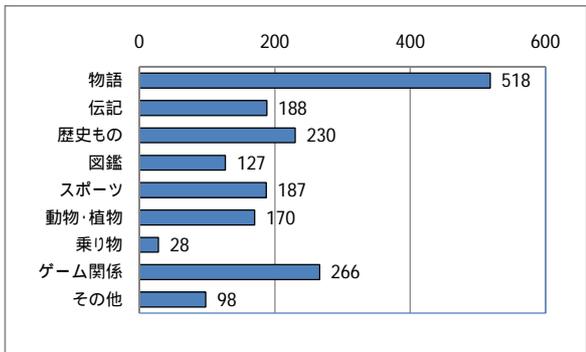
・前回調査時に比べ、「小学校入学まで」との回答が8.5ポイント増加し「小学校低学年(1~2年)」との回答が6.9ポイント減少しており、早期に読み聞かせをしなくなる傾向が見える。
 ・前回調査時と比べ、「忘れて(覚えていない)」と回答した児童は、17.6ポイント減少しているが、今回の調査では、無回答の割合が非常に高くなっている。

問5 あなたは、本が好きですか。



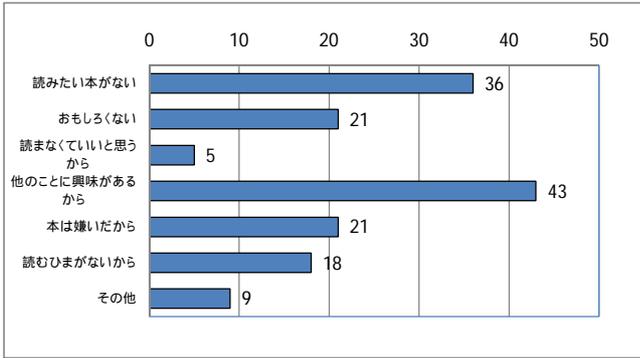
・「好き」「まあまあ好き」と回答した児童が、約88%あり、前回調査時より2ポイント増加している。
 ・本が「あまり好きではない」「きらい」との回答が前回調査時より3.1ポイント減少している。
 ・読書好きな子どもが少し増加しているが、依然として「あまり好きでない」「きらい」との回答が約10%あり、読書や本を好きになる工夫が必要である。

問7 問5で「好き」「まあまあ好き」と答えた方に質問します。好きな本の種類は何ですか。(複数回答)



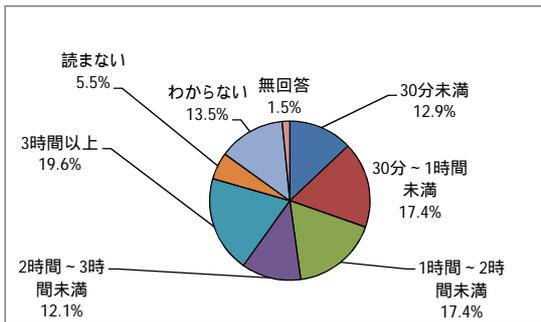
・「物語」が好きな児童が、約65%を占める。
 ・「伝記」や「歴史もの」などの史実に基づく話が、50%を超え、人気である。
 ・「ゲーム関係」は約33%であり、遊びを目的に読書をする児童も多数いた。
 ・「その他」では、アニメ・マンガという記述が多くあり、読書にアニメやマンガを含めて考える児童が見受けられた。

問8 問5で「あまり好きではない」「きらい」と答えられた方に質問します。その理由は何か。(複数回答)



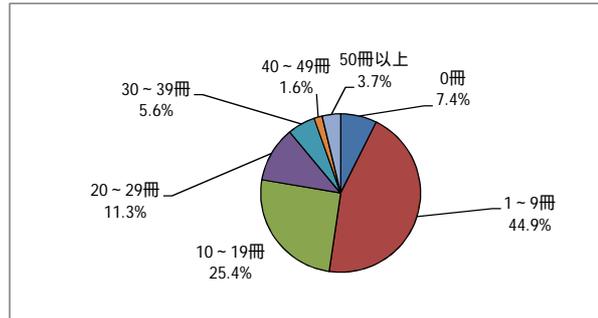
・「他のことに興味があるから」と回答した児童は、約43%のほり、「読みたい本がない」という児童は、約36%であった。
 ・「おもしろくない」「本は嫌い」という、本に対する否定的な意見が約21%ずつあるなど、今後、読書への興味付けにつながる取り組みが必要である。

問9 あなたは、1週間で何時間くらい本を読んでいますか。(朝読書を含む)



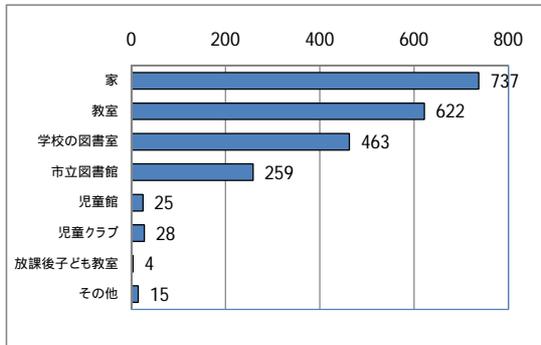
・1週間の読書量が「1時間未満」と回答した児童は、35.8%を占め、前回と比較すると、3.2ポイント減少している。
 ・「1時間以上」と回答した児童が49.1%で、前回調査時よりも6.2ポイント上昇しており、読書習慣が少しずつ定着している。しかし、一方で、「読まない」と回答した児童は、前回調査時より2.ポイント上昇しており、読書の2極化がうかがえる。

問10 あなたは、1か月間で何冊本を読みますか。



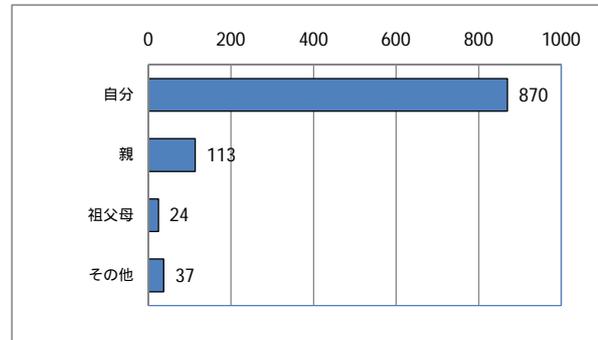
・1か月の読書量では、10冊以上読む児童は、47.7%であり、半数を占め、前回調査時とほぼ同様である。
 ・読書冊数が「0冊」との回答が7.3%で、前回調査時より約4ポイント増加しており、本の楽しさに触れる機会を作ることが必要である。

問11 本はどこで読んでいますか。(複数回答)



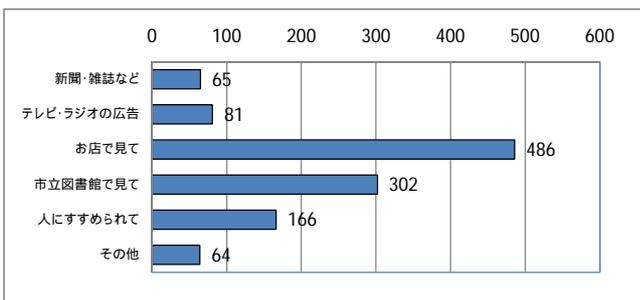
・読書場所を「家」と回答した児童が80%以上あったほか、「教室」が68%、「学校の図書室」が約50%あり、半数以上の児童が学校内でも読書に取り組んでいる。
 ・市立図書館と回答している児童は、28%であった。

問12 主に誰が本を選びますか。(複数回答)



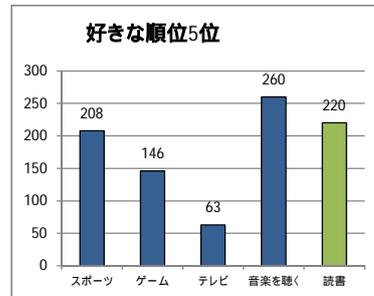
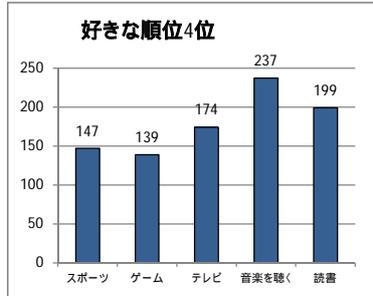
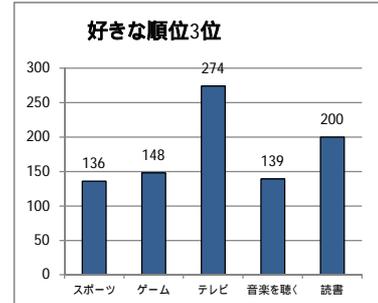
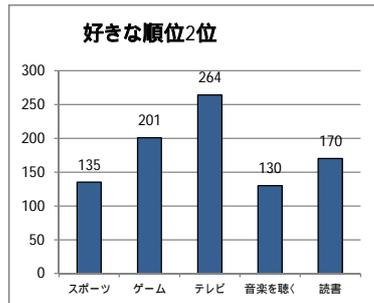
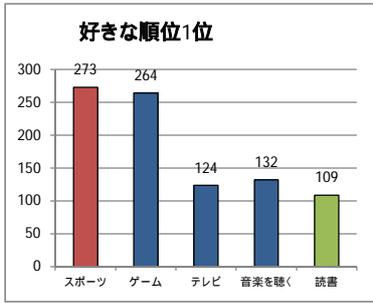
・「自分」で本を選んでいる児童が、95%以上と大多数で、自主的に本を選んでいる傾向が強い。

問13 どのようにして本を選びますか。(複数回答)



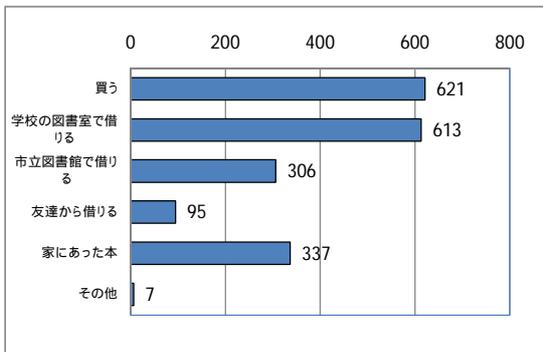
・選書について、「お店で見て」との回答が約53%で群を抜いているほか、「市立図書館で見て」との回答も約33%あった。

問14 好きな順に1から5まで番号をつけてください。



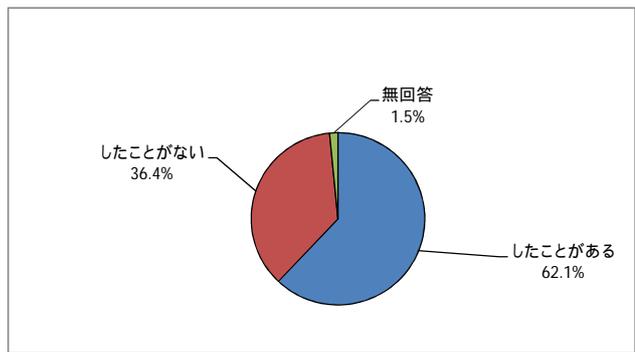
・好きな順位として、「スポーツ」29.9%、「ゲーム」28.9%で、「読書」と回答した児童は、約12%であった。

問15 本は主にどうやって手に入れますか。(複数回答)



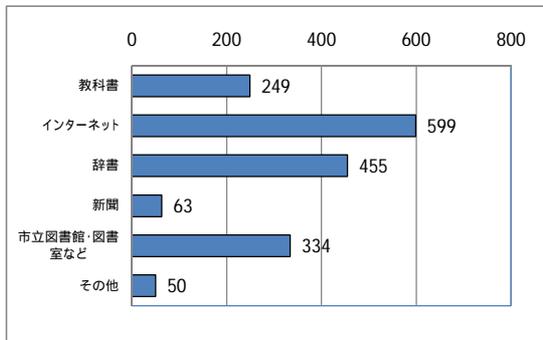
・約68%の児童が「買う」と回答しており、前回の調査時より約11ポイント増加している。
 ・「学校の図書室で借りる」が約67%、「市立図書館で借りる」が約33%あり、多くの児童が図書館等を利用している。
 ・「家にあった本」との回答は、前回の調査時より約16ポイント減少している。

問16 読んだ本について、家族と話をしたことがありますか。



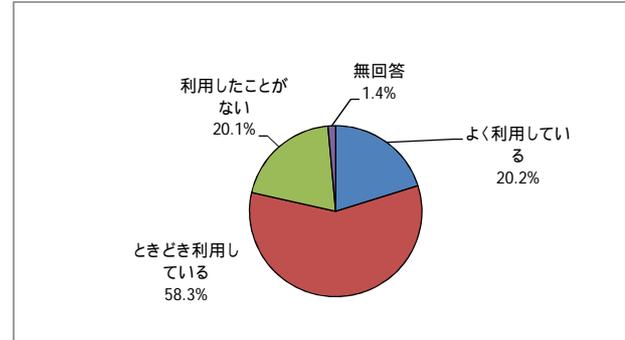
・「読んだ本について、家族と話をしたことがある」との回答が約62%で、前回調査時とほぼ同数であった。
 ・読んだ本について、「家族と話をしたことがない」との回答が約36%あり、読書活動を通じて家族のふれあいを進め、家庭教育支援にもつなげることが大切である。

問17 調べ物をするとき、何をを使って調べますか。(複数回答)



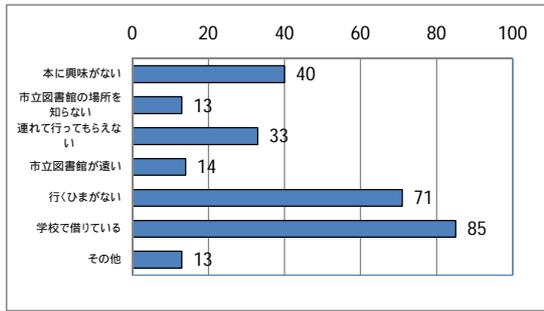
・調べ物をするとき、「インターネット」との回答が約65%で、前回調査より回答数が約2倍になっており、児童がインターネットに触れる機会が増えていると考えられる。
 ・前回調査時より「辞典」、「教科書」がそれぞれ減少しており、インターネットの普及に伴い、本で調べることが減少していると考えられる。

問18 市立図書館(自動車文庫「ぶっくまる」も含む)を利用したことがありますか。



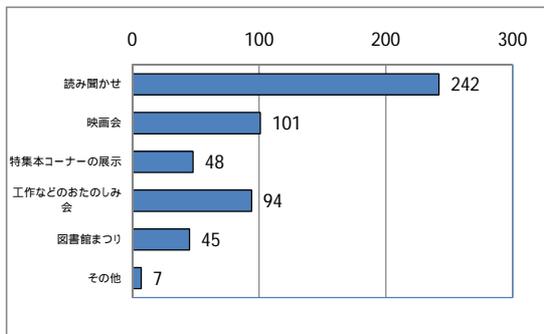
・市立図書館を「よく利用している、ときどき利用している」との回答が78.5%で、前回調査時より約3ポイント減少している。

問19 問18で「利用したことがない」と答えられた方に質問します。その理由は何ですか。(複数回答)



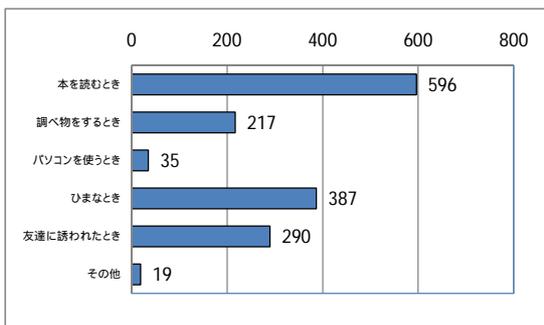
・市立図書館を利用しない理由としては、「学校で借りている」が46.4%、「行くひまがない」が38.8%であった。
 ・「場所を知らない」は7.1%と前回調査時より約12ポイント減少しているものの、利用につながっていない現状である。
 ・「本に興味がない」との回答が約22%あり、前回調査時より約8ポイント増加しており、読書の楽しさを広げる取り組みが必要である。

問21 問20で「知っている」と答えられた方に質問します。その行事はなんですか。(複数回答)



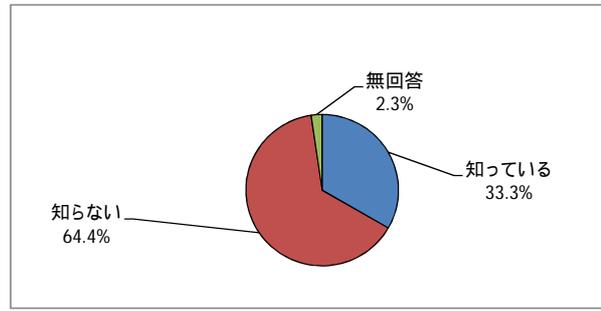
・知っているとの回答の中で、「読み聞かせ」が約80%あり、子ども達に広く認知されている。

問23 問22で「よく利用する」「ときどき利用する」と答えられた方に質問します。どんな時に利用しますか。(複数回答)



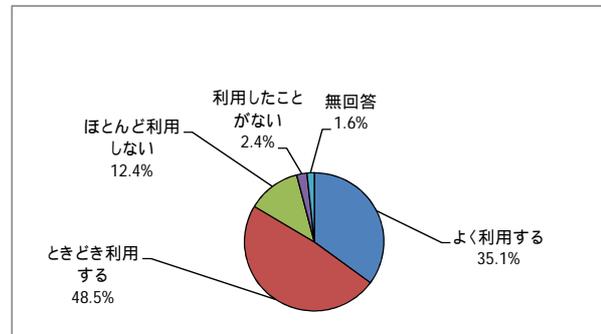
・78%以上の児童が読書を目的に利用している。
 ・また、半数以上の児童が、「ひまなとき」と回答しており、時間に余裕がある時に図書館に訪れる機会が多い。

問20 市立図書館で行われている子ども向けの行事を知っていますか。



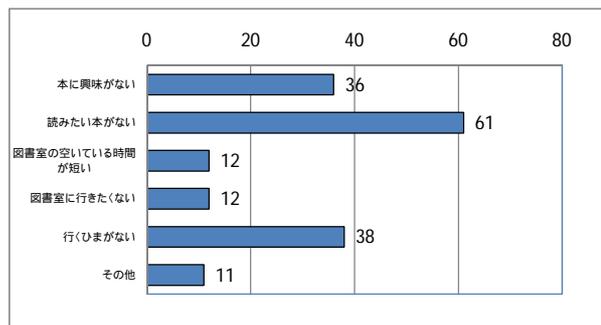
・図書館で行われている子ども向け行事を「知らない」との回答が約64%あり、行事を知らせる工夫が必要である。

問22 小学校の図書室を授業以外で利用したことがありますか。



・小学校図書室を「よく利用する、ときどき利用する」と回答した児童は約84%で、前回調査時より約3ポイント増加している。

問24 問22で「ほとんど利用しない」「利用したことがない」と答えられた方に質問します。その理由は何ですか。(複数回答)



・学校図書室を利用しない理由としては、「読みたい本がない」が45.2%であり、多数を占める。次いで「行く暇がない」「本に興味がない」が25%以上であり、時間の理由や興味関心の薄さが理由として多く挙げられている。

小学校5年生アンケートから読み取れる課題

20%以上の児童が読み聞かせをしてもらっていない現状【問2】

市立図書館の利用数が少ない(理由:読みたい本がないが多数)が、学校図書室の利用数は多い【問18・22】

本を読む子と読まない子の二極化が進んでいる

読書の他に魅力的なメディアが多く、読書の割合が減っている【問14】

本自体に興味のない子が増えている【問19】

「1日15分間読書」目標数値 39% 10% 1週間の読書量が「1時間未満」35.8%(前回より3.2%減少)【問9】

読んだ本のお話を家族とする(小5)63% 75% 「読んだ本について、家族と話をしたことがある」約62%(前回とほぼ同様)【問16】